



# ミッド・キャリア層の再就職支援 「キャリア・インサイトMC」の開発

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
室山晴美(E-MAIL:hmuro@jil.go.jp)

# 1. キャリア・インサイトMCとは

- **CACGs** (Computer Assisted Careers Guidance System)として開発したPCによるキャリアガイダンス・システム
- ミッド・キャリア層 (35歳以上で就業経験のある層) の再就職や定年退職後のキャリア設計を支援。
- 若年版の「キャリア・インサイト」と連続して利用できるシステムとして開発。



## 2. 開発のプロセス

- 公的な職業相談機関へのヒアリング
- 調査
  - ・第1回調査 2005年 (男性1086名、女性1153名、計2239名)
  - ・第2回調査 2006年 (男性1044名、女性1031名、計2075名)

## ■ システム開発

- ・ 版の作成      試行実験
- ・ 版の修正      版の作成      版の試行実験
- ・ 版修正      最終版完成(2007年3月)

## ■ 配布

- ・ 公的機関に配布(2007年5月～)      現場での運用
- ・ 完成版の評価(ハローワーク職員に対して継続して実施中)

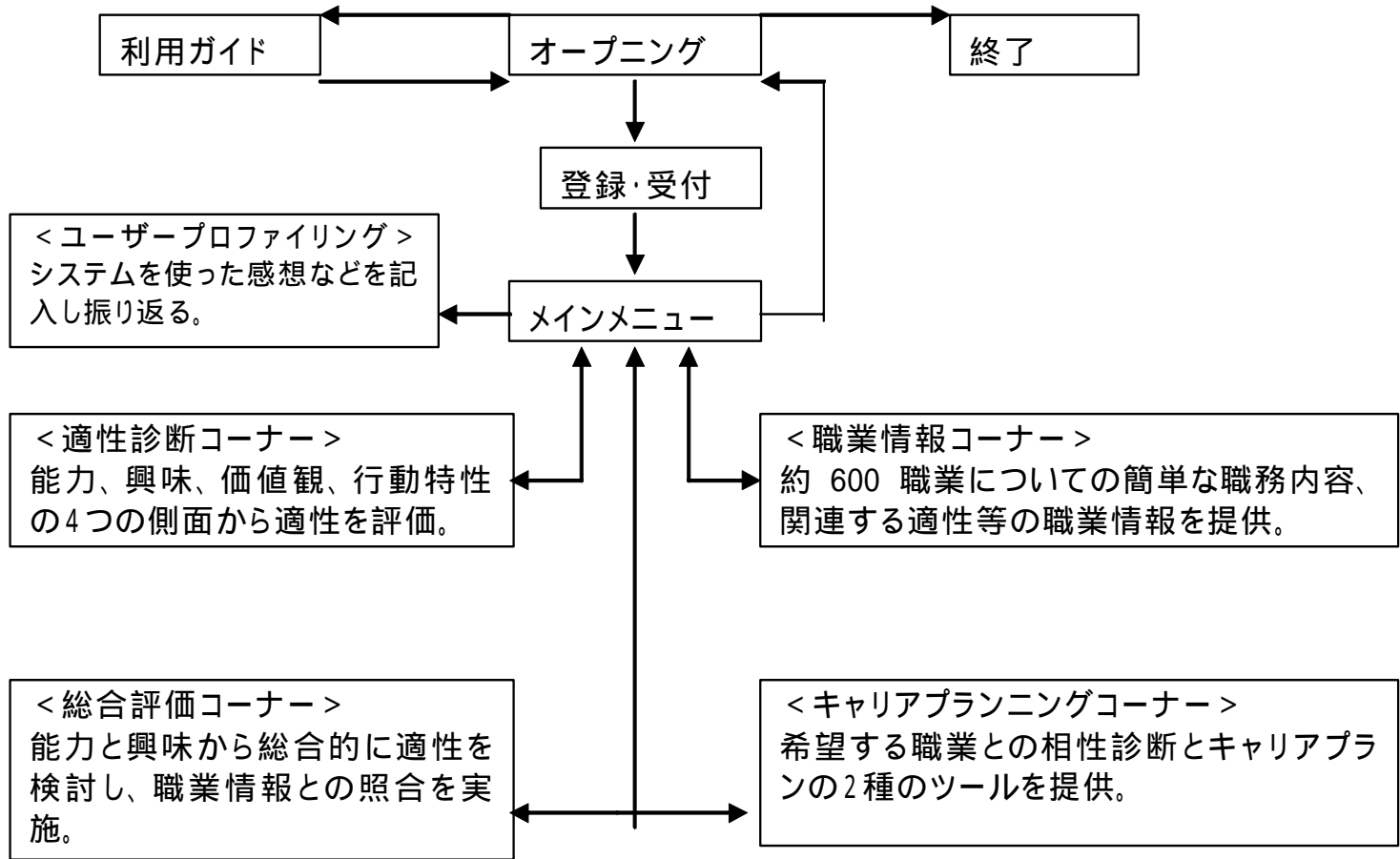
## ■ 研修の実施



### 3. ミッド・キャリア版の特徴

- 幅広い年齢層に使いやすいシステムとしての操作性の高さ。
- ミッド・キャリア層(年齢が高く、職業経験あり)に必要なガイダンスの特性を意識して開発(日常生活の興味の把握、行動特性評価、キャリアプランの新規作成)

# 4. システムの概要



図表1 システムの構造

# 5. 各機能画面サンプル



図表2 オープニング画面



図表3 メインメニュー画面

# 適性診断コーナー (興味評価の例)



図表4 興味評価・説明画面



図表5 興味評価質問画面



# 興味評価のプロフィール



図表6 興味評価プロフィール



図表7 日常生活への興味

# 行動特性の説明画面とプロフィール例

職業適性診断システム・[行動特性評価(4F)]

インサイトナビ

選任診断コーナー——行動特性の評価

CAREER Insights<sup>MC</sup>

ここでは、仕事をする上で起こるいろいろな状況で、あなたがどのように行動するかを調べます。

以下の項目についてご回答いただけます。

- あなたの思考の傾向の基礎的な特徴と方向性 (20項目)
- あなたが呼び寄せられるイメージ (14項目)
- あなたが尊敬とする対人関係タイプ (15項目)

回答結果として、以下の情報が得られます。

- 自分の過去経験を客観的にとらえるタイプか、感情的に評価するタイプか
- 自分が働きたいと思う職業イメージが、社会的な価値観を重んじるタイプなのか
- 自分が得意とする対人関係の種類は何か、など

行動特性の3つの観点

- 過去経験に対する考え方や受け止めの特徴
- 自分が合った職場の環境的特徴
- 自分に合った対人関係の特徴

図表8 行動特性評価・説明画面

職業適性診断システム・[行動特性評価(4F)]

インサイトナビ

選任診断コーナー——行動特性の評価

CAREER Insights<sup>MC</sup>

プロフィール(基礎的性格特性・思考特徴)

●基礎的性格特性・思考特徴

ストレスへの耐性	43.8%
変化への欲求	32.8%
経験への肯定感	1.7%
自信のある態度	37.8%

●プロフィールの見方

このプロフィールは、あなたの過去の経験や現在の状況に基づいて、あなたに最適な対人関係のタイプを提案しています。あなたの現在の状況や価値観に基づいて、最適なタイプを提案しています。あなたの現在の状況や価値観に基づいて、最適なタイプを提案しています。

●解説

日常生活や仕事上でつらい経験をすると、内容によってはあまり悩みませんが先制に対応できる傾向を示しています。この傾向や様々な場面での経験などの環境変化が軽減されない限り、このような変化状況にも対応できる冷静な傾向を示しています。

過去に経験した仕事上の経験については、あなたの職業や評価するタイプです。経験の追加的な変化だけではなく、過去の経験に基づいてあなたの傾向や価値観を評価しています。

過去に経験した仕事上の経験については、適切な評価をもって冷静な傾向を示しています。今後あなたの過去の経験の傾向や変化がどのように影響するかを予測していきましょう。

図表9 基礎的性格特性・思考特徴

# 行動特性評価の結果の表示



図表10 職場イメージ特徴

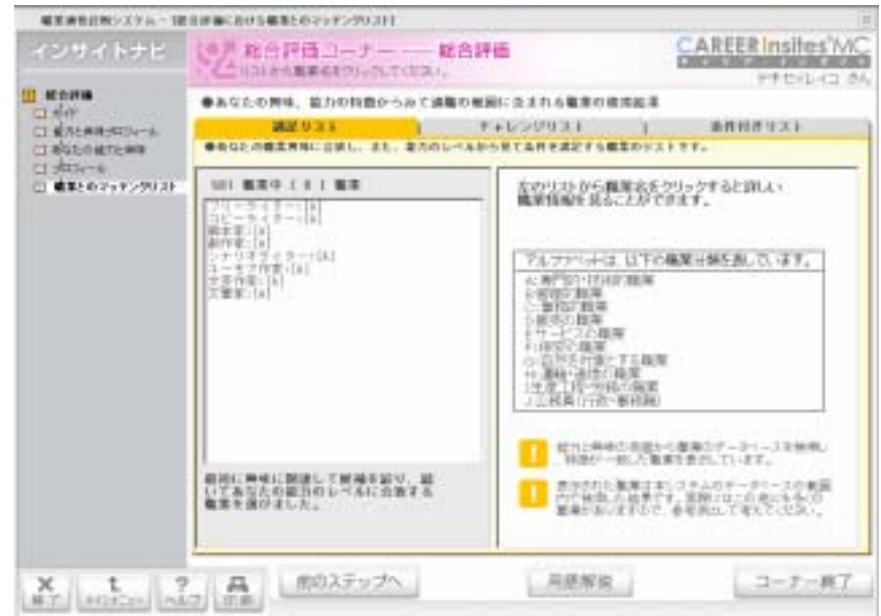


図表11 得意とする対人関係業務

# 総合評価コーナー



図表12 能力と興味の総合評価



図表13 総合評価による適職リストの作成

# 職業情報コーナー



図表14 職業リスト検索メニュー



図表15 五十音順によるリストの表示

# 職業情報コーナー

職業名	デザイナー	職業分類コード	ESB-10
仕事の分野	専門的・技術的職業	特に関連する能力	- ボンディング [10] - アートとグラフィック [30]
仕事の下位領域	デザイン・広告の職業	関連が強い能力	- リーダーシップ [10] - コミュニケーション [30] - リサーチとグラフィック [30]
仕事の内容	<p>正式な職種名は「デザイナー」(型紙を作成する人)で、洋服の型紙を作成する仕事を行う。また、デザイナーの役割するイメージを理解し、具体的な形「サンプルパターン」を作成し、それを製作者が人型を使ってチェックした後、実際の服のパターンを作成し、工場での生産の図、縫製の方法などを詳しく指示した「縫製仕様書」を作成する。主要制作を学ぶ専門学校を卒業した後、アパレルメーカーに勤めるのが一般的。</p>		
資格	<p>〈業界認定〉資格を取ったり、専門の学校に通って技術の知識・技術を身に付けると就業が無条件な場合(例) デザイナー</p>		
職業者数	10万人以上〜30万人未満		
男女比率	男性が大半を占める		
参考文献	日本労働研究機構編「1から10」職業ハンドブック		
【参考資料】職業者数および男女比を算出した職業カテゴリ	<p>「服飾制作員」「下着生産員」 その他(衣類・服飾製品製作業者)</p>		
		関連する興味領域	- 芸術的[A] - 機能的[C] - 機能的[D]
			印刷 閉じる

図表16 個別職業情報の画面

# 希望する職業との相性診断

職業情報診断システム - 希望する職業との相性診断(仕事分野の選択)

インサイトナビ **キャリアプランニングコーナー - 希望する職業との相性診断** CAREERinsites MC

項目を選択して2つのステップ(画面)を行ってください。

1. 仕事分野の選択  
初めにあなたの希望する仕事の分野を一つだけ選んでください。

<input type="checkbox"/> 総合	<input type="checkbox"/> 希望する職業との相性診断
<input type="checkbox"/> 仕事分野の選択	<input type="checkbox"/> 希望する職業との相性診断
<input type="checkbox"/> 職業者数	<input type="checkbox"/> 希望する職業との相性診断
<input type="checkbox"/> 性別比率	<input type="checkbox"/> 希望する職業との相性診断

<b>A. 専門的・技術的職業</b>	<p>2. 仕事の領域の選択 次に、具体的な仕事の領域を一つだけ選んでください。</p> <p>自然科学系研究者 人文・社会科学系研究者 技術者 医療・保健・社会福祉の職業 法務・経営の職業 教育の職業 <b>デザイン・広告の職業</b> アパレル・ファッションの職業 芸術の職業 プロスポーツの職業 その他の専門的職業</p>
B. 管理的職業	
C. 事務的職業	
D. 販売の職業	
E. サービスの職業	
F. 保安の職業	
G. 自然を対象とする職業	
H. 運輸・通信の職業	
I. 生産工程・労務の職業	
J. 公務員(行政・事務職)	

前のステップへ 次のステップへ

図表17 希望する職業との相性診断

# 希望する職業との相性診断



図表18 希望する職業リストの作成



図表19 希望する職業と適性との照合

# キャリアプラン(過去の振り返りと将来のキャリアプラン)

職業開発センターシステム - ログイン成功

インサイトナビ

キャリアプランニングコーナー - キャリアプラン

CAREER Insights<sup>MC</sup>

3. ライフイベントの入力

この画面で入力されたライフイベントは、履歴情報として保存されます。入力した情報は、将来のキャリアプラン作成に活用されます。入力した情報は、将来のキャリアプラン作成に活用されます。入力した情報は、将来のキャリアプラン作成に活用されます。

生涯生活	学業生活	職人生活
大学・大学院・進学 卒後生活 卒業 特種活動開始	結婚 専業主婦 専業主夫	初任給(給与)決定 昇進活動 退職予定
社会生活 子育て開始 育児生活開始	子育て期間 育児生活開始	本人の転職 退職予定
結婚生活 結婚生活開始 結婚生活終了		

終了 入力中 ヘルプ 印刷

前ステップへ 次ステップへ

図表20 キャリアプランの作成

職業開発センターシステム - ログイン成功

インサイトナビ

キャリアプランニングコーナー - キャリアプラン

CAREER Insights<sup>MC</sup>

あなたのロール・ライフイメージ：仕事の継続や達成を重視する生き方  
 生活スタイル：(専門知識が評価されるような仕事に就き、できる限り長く仕事を続ける。)

生涯生活	学業生活	職人生活	個人生活
職業生活 職業生活開始 職業生活終了	大学・大学院 進学	初任給(給与)決定 昇進活動 退職予定	結婚生活 結婚生活開始 結婚生活終了
職業生活 職業生活開始 職業生活終了	社会生活 子育て開始 育児生活開始	本人の転職 退職予定	本人の転職 退職予定
職業生活 職業生活開始 職業生活終了			
職業生活 職業生活開始 職業生活終了			
職業生活 職業生活開始 職業生活終了			
職業生活 職業生活開始 職業生活終了			

終了 入力中 ヘルプ 印刷

前ステップへ コーナー終了

図表21 キャリアプラン最終画面



## 6 . システムの活用

- 中高年齢者の多様なキャリア設計支援へ  
必ずしも就職だけではない生き方へのヒント(職業興味、キャリアプラン)
- 再就職に行き詰まった時の自分自身の見直し(新たな興味、能力の発見)
- 相談での会話のきっかけ、糸口に

## 7. 利用者(求職者)の感想

- 「ご自分にとって、新たな発見や気づきはありましたか？」
- 今まで事務の仕事をしてきましたが、実は専門や技術の仕事の方に適性があるとわかりました。
- 自分の性格が再認識させられました。
- 自分が間違った職探しをしているみたいだと思った。
- 自分の希望する職業がわかり、とてもよかった。
- 事務職より専門職を探した方がいいという結果に驚いた。

## 8 . 相談担当者の感想

- キャリアプランは自分の棚卸しのようなことがやっていて構えることもなくできてしまうのでいいと思う。
- 中高年の方がこういったシステムを受ける目的は「興味がある」「向いている」より「自分は何の仕事ができるのか」ということが多いので、評価のコメントも具体的に\* \*は無理とか分かった方がいいように思いました。
- ある程度じっくりと仕事を探していきたい人(定年に向けての相談や、初めての転職)に有効と感じた。

- 中高年の方の場合、「今からこんな仕事に就けるのか」と文句を言うことも多いので、対応の方法がわかるといいです。
- PCが苦手な方もいるので、運用していく中で、どれだけ分かりやすく職員が説明、解釈できるかが窓口での課題であると思いました。
- 一般の職業相談窓口で使うよりも予約制の就職支援の窓口で使う方がはるかに有効だと思いました。



## 9 . 今後の課題

- 現場での利用状況の把握 (意見、感想などの収集)
- システムを使った実験的なガイダンスの実施 (利用者からの意見の聴取)
- 効果的な使い方、問題点の検討
- 定期的なデータの収集 (次回の改訂に向けて)



## 10.提供について

- 現在は、ハローワーク、公的な職業相談機関、若年向けシステムの利用実績のある機関に限定配布。
- 10月以降一般販売の予定(社団法人 雇用問題研究会より) 手引き、CD-ROM